

事務局報告

2001年度第2回(通算10回)幹事会議事要録

日時:2001年9月24日 14:00~17:00

場所:中央大学理工学部地学・生物学教室

出席者:鈴木三男,辻誠一郎,江口誠一,松下まり子,能城修一,木村勝彦,半田久美子,植村和彦,西田治文,樋泉岳二,寺田和雄(欠席:田川裕美,百原新,高原光,大井信夫,斎木健一)

1. 第2期と第3期の合同幹事会として開催した。
2. 9月24日現在,正会員が393名,うち学生会員が11名であることを確認した。
3. 第3期会長によって,以下のような新幹事と委員会の委員長・副委員長を選出し,第3期幹事会を発足することを報告・了承した。
会長:辻誠一郎,庶務幹事:江口誠一,会計幹事:斎木健一,広報・渉外幹事:樋泉岳二,編集委員長:植村和彦,編集副委員長:西田治文,行事委員長:半田久美子,行事副委員長:寺田和雄。
4. 会費の納入状況は,2001年度までの完納者は188名で約半数に過ぎず,2001年度未納者を含めた会費未納者は約150名にのぼることを確認した。これまで会費の長期滞納者にも会誌を送付してきたが,今後は送付を停止し,滞納分納入後に送付することにした。
5. 会費の未納者が多いことによって,財務が切迫していることを確認した。
6. 名誉会員の推薦にあたって,選考基準を明確にし,規定

を第3期幹事会において早期に作成することとした。これらが整備できしだい,第3期において名誉会員を推薦することとした。

7. 改訂名簿の編集を第3期の庶務幹事のもとで行い,会誌第10巻第2号と同時に発送することとした。名簿には広告を掲載し,早急に広告の募集をすることにした。
8. 会誌の編集は,第10巻第2号まで第2期の編集委員会で行い,第11巻以降の編集は第3期編集委員会で行うことを確認した。第10巻第2号は第16回大会の前後に刊行の予定である。第11巻以降の投稿原稿は1件もない。
9. 会誌の編集にあたっては,できるだけ迅速に,かつ安価に上げられるよう検討することとした。印刷所は継続することを確認した。
10. 第16回大会(会場:北海道教育大学函館校)の準備は着々と進んでおり,9月中にプログラム作成を完了し,会員に大会の最終案内を送付することとした。
11. 第20回談話会については,これまで日本生態学会の自由集会として開催が可能かを検討してきたが,本学会独自の行事として検討していくことで了承し,第3期の行事委員会において早急に検討に入ることにした。
12. 第17回大会は,福井県立恐竜博物館を会場として開催することで開催地の了解を得ていることを確認した。期日は11月16・17両日を1候補として検討することにした。
13. 第18回大会は,岡山理科大学を会場として開催することで開催地の了解を得ていることを確認した。

査読者への謝辞

植生史研究第10巻に投稿された論文等は下記の方々に査読していただきました。記して御礼申し上げます。

叶内 敦子	黒田 登美雄	高田 克彦	高原 光	南木 睦彦	百原 新	吉崎 昌一
紀藤 典夫	立石 庸一	高橋 英樹	能城 修一	三宅 尚	守田 益宗	